

CASE：アマモ種まきへの参加

マルハニチロ（株）は、2023年11月3日（金・祝）に「東京湾 UMI プロジェクト」の活動の一環として、アマモの種まきを実施し、マルハニチログループの社員とその家族合わせて48名が参加しました。マルハニチログループでは、東京湾の水質を改善し海の生物の棲み処となって沿岸の環境を整えるアマモ場の再生活動に協力しており、2016年からは国土交通省の「東京湾 UMI プロジェクト（東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト）」協力企業に認定されています。

横浜市柴漁港・海の公園周辺は以前からの継続したアマモ場再生活動により、一時期は埋め立て以前の姿に近づくまでアマモ場の面積は増えたものの、近年になり頻発する台風の影響で衰退していました。再び以前の姿に戻すために、初夏に同エリアで採取した種子を用いて、秋に種まきを行い、アマモ場再生のサイクルを生み出す活動です。初夏のアマモの種子を集める花枝採取は、悪天候のためグループ内イベントとしての開催は断念し少人数で実施しましたが、その際に採取したアマモの種子も今回の種まきに使用しました。



完成した播種シートを前にした参加者の集合写真

海の恵みを事業の資本としているマルハニチログループとして、今後も積極的に持続可能な海洋環境を創造していくための活動に取り組んでいきます。